

おたよりコーナー

近況、出来事
など...



●国境なき医師団より活動報告が届きました。私は少額しか寄付できませんが貧しい人びとの為医療を届ける人々がおられる事に頭が下がります。世界から見ると豊かな日本では我が子殺しが頻発して悲しくなります。なんと恐ろしい国になってしまったのでしょうか。近くの保育園児が保母さんに見守られながら、ロープを皆で握り、散歩する姿が見られます。頑張っている保母さんにも小さな子供達にもつい声をかけたくくなります。元気に育てて下さい、と七夕飾りに書きました。(中央・K様)

●半生を反体制・権力に生きた老輩が、傘寿を過ぎ故意の交通違反で想定外の罰を喰らい、過日試験場まで足を運び高齢者再講習を受けた。それまでは免許の自主返納との思いもあったが、これで「初志貫徹」終生ドライビングを決意。免許を取って60年余、これまで無事故・多違反で黄金免許証になったことは一度もない。あの佐川急便の会長が言った「スピード違反しないドライバーに仕事ができるか!」を胸に刻み、堂々と運転して生きたい!(若木台・F様)

●恵みの雨

「雨が降らない」「水不足」と言われていましたが、やっと梅雨入り(6/26)しましたね。日頃、雨はうざんしいのですが、今から遡ること、約40年前の福岡大洪水の記憶がよみがえってきました。蛇口をひねっても、「水が出ない。給食は、冷凍野菜(ミックスベジタブル)、プール授業なし」と水の大事さを身を持って勉強しました。「節水」の精神を今も継続しています。しかしながら、当時は、自宅の水は、井戸水で、自宅は、断水は関係ありませんでした。(ご近所さんがもらい水に来ていました。)今は、水道水なので、逆の立場となり、家族には、「宗像に水源がない。」等口うるさく「節水」を呼び掛けて、嫌われています。(笑)

(若木台・H様)



●梅雨晴れの朝、「何十年も散歩にきているけど、花を見るのは初めて」と聞こえた。ご夫婦と思しきカップルの女性の声に男性がうなずいている。宮地嶽神社民家公園へと続く道の入り口付近に生えている背丈を越すサボテン。私も近づいて見上げると、見事な花が2輪、蕾も何個か付いている。声がなければ見過ごすところ、目の保養をさせていただいた。(西福岡・S様)

●あと1週間で夏休み。

子どもたちにとっては楽しみな楽しみな夏休み。親にとっては3度の食事の世話で1日があつという間の夏休み。今年は雨があまり降らず、プールに入れるのか?ととても心配です。(桜川・I様)



●ひと月振り連続応募

6月の数独パズル「早かった」と言われた中央のKさん。達人ですね。思考力分けてもらいたい!ミソの出来が違うんでしょうね。笑々。べ切も近く成った日、家に電話が掛かって来ました。又、営業セールスの電話かなと出ると宗像警察と言うので何事かと聞いてると電波か何か悪くて途切れ途切れで話の内容がさっぱり解らず、家に来て説明して下さいと電話を切った。その後何の音沙汰も無いから必要な用では無かったようだ。夫、サギの電話だったんだヨ、狙われたんじゃないか!と私もそうだったかも・・・と思った。お気をつけ有れ!!(光陽台・I様)

●古稀の祝いで子供達が別府の温泉に招待してくれた。翌日は、佐伯の「歴史と文学のみち」へ、歴史資料館をスタートし、佐伯城三の丸櫓門、明治の文豪・国木田独步館、武家屋敷跡から戦前に海軍航空隊が置かれた軍都を思い出させる「平和祈念館やわらぎ」へ向う。大画面の映像から戦争中の空襲体験が「叔母の右腕が目の前に吹き飛ばされて来た!」といった話に衝撃を受けた。昼には名物ゴマミソうどんにアジ寿しに舌鼓し、見学できるあまざけ工場「麴の杜」へ。孫2人と共に楽しい旅でした!(中央・O様)

●本格的な夏を前に外仕事には切りがない。今日はずい分たまってお便りを仕分けして減らすことにした。

毎月私にはペンで近況を知らせてくれる友人が三人いる。そのお便りが今私の楽しみのひとつだ。三人は年齢もちがうのだが、一番若い人は小学生の子ども二人をもつお母さん。パートで働くものの学校行事にも熱心でママ友もいて明るい。そんなことでクラスの友だちとの活動スナップが生き生きして母子共にほほえましい限りだ。そして私はというと最近とみに病気のことで老後の行く末だと話が湿りがちだ。もう待ったなしの時間が少しあるだけ。若い友のおしゃれな生き方も参考にもっと明るく前向きにならなくては。お便りから毎月楽しみとはげましのひとときをいただいております。(福岡県東・O様)

●小さな生き物

家の中にハエトリグモがたくさんいる。何も悪さをしないから見つけても平気である。昔ならともかく、今どきハエはあまり家の中に入らないのに、クモは何を食べているのだろう。黒い木綿糸を丸めたような姿をしているので、ゴミかと思いつまもうとするとフッと動く。朝、顔を洗っていたら洗面台の上からクモがスーッと降りて来た。濡れた台の内側を登ろうとしては滑り悪戦苦闘している。指で乾いた所へ上げてやるとホッとしたのか、クロス張りの壁・・・をキャタピラーのようにシューッと真直ぐ登って行った。この時期、家の外でも小さな生き物に出合う。久しく現われなかった小ガニである。甲羅は3センチぐらい。繁った茗荷の根元を横歩き(当り前)で行ったり来たり、愛らしいったらない。雨の日、小さな生き物に心かわす楽しみもある。「梅雨も又よし」である。

(西福岡・S様)



おたより大募集♪

皆さまの近況や出来事などお聞かせください♪短い文章でもかまいません。文章は400字以内にまとめてお願いいたします。ご応募お待ちしております。

※応募の締切 8月15日まで